

作成日 平成 5年 6月 14日
改定日 平成 24年 3月 2日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	デゾレート A
会社名	日本カーリット株式会社
住所	〒377-0004 群馬県渋川市半田 2470
担当部門	環境安全品質保証部
電話番号	0279-23-8812
FAX 番号	0279-23-8642
緊急連絡先	同上
整理番号	A-1010

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性	火薬類 可燃性固体 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性固体 金属腐食性物質	分類できない 分類できない 区分外 分類できない 区分外 区分 2 分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入：粉塵) 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 吸引性呼吸器有害性	区分外 区分 5 区分 4 区分外 区分 2B 分類できない 区分外 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性 水生環境慢性有害性	分類できない 分類できない

上記で記載がない危険有害性は分類対象外。

ラベル要素
絵表示またはシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
火災助長のおそれ：酸化性物質
吸入すると有害
皮膚に接触すると有害のおそれ
眼刺激

注意書き

[安全対策]

熱から遠ざけること。
 衣類／可燃物から遠ざけること。
 可燃物と混合を回避するために予防策をとること。
 保護手袋／保護衣／保護面／保護眼鏡を着用すること。
 粉じん／ミスト／煙を吸入しないこと。
 屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。
 取り扱い後はよく手を洗うこと。

[応急措置]

- ・火災の場合：消火に適切な消火剤を使用すること。
- ・吸入した場合：新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
- ・飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄すること。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

[保管]

直射日光を避け、密栓した後、冷暗所に施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物や容器を、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国／地域情報

農薬取締法：農林水産省登録 第9024号

消防法：危険物第1類 塩素酸塩類含有物 第2種酸化性固体

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物		
化学名	塩素酸ナトリウム	セスキ炭酸ナトリウム	鉱物質等
含有量	60%	30%	10%
化学式	NaClO ₃	Na ₂ CO ₃ ・NaHCO ₃	—
官報公示整理番号	(化)1-239 (安)公表	(化)1-164 (安)1-(3)-141	—
CAS No.	7775-09-9	533-96-0	—

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受ける。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して、その後も洗浄を続ける。刺激が続く場合は、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄する。無理に吐かせない。気分が悪い時は、医師に連絡する。

5. 火災時の措置

消火剤	水、強化液、泡、消化粉末(りん酸塩類等)
使ってはならない消火剤	—
特有の危険有害性	加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災によって刺激性又は毒性のガス及びヒュームが発生するおそれがある。 火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。
特有の消火方法	火災を増大させる危険性があるものを周囲から速やかに取除く。 関係者以外は安全な場所に退去させ、立入りを禁止する。 周辺火災時、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。 移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。 水を噴霧して容器類を冷却する時に、この物質に直接かからないようにする。 消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。
消火を行なう者の保護	消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	周囲のすべての着火源を取り除く。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入、誤飲を避ける。
環境に対する注意事項	除草剤として植物に対して無選択に作用して植物を枯らすので、除草目的以外に土壌などに散布してはならない。
回収、中和並びに封じ込め及び浄化の方法・機材	飛散したものを掃き集めて、空容器に回収する。また水洗できる場所では、大量の水で洗い流す。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い	熱から遠ざける。
技術的対策	可燃物と混合を回避するために予防策を取る。 不浸透性保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡等の適切な保護具を着用し、粉塵を吸い込んだり、眼や皮膚、衣類に触れたりしないようにする。 取扱い後は、手、顔などをよく洗う。
局所排気・全体換気	取扱いは、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で行う。
注意事項	取扱いは換気の良い場所で行い、粉塵が飛散しないよう注意し、みだりに蒸気やガスを発生させない。 使用前に取扱い説明書を入手し、すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わない。 指定された個人用保護具を使用する。
保管	火気厳禁の標識を立てる。
技術的対策	熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。
保管条件	保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、はりを不燃材で作る。 直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。
容器包装材料	消防法の危険物(塩素酸塩類)に該当するので、可燃物と同一場所に貯蔵しない。 ポリエチレン袋、他

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	
日本産業衛生学会	設定されていない。
ACGIH	設定されていない。
設備対策	取扱いについてはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
保護具	
呼吸器の保護具	防塵マスク
手の保護具	不浸透性保護手袋
眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	静電気防止加工長袖作業衣

9. 物理的および化学的性質

外観(物理的状态、形状、色)	類白色細粒
臭い	データなし
pH	データなし
融点・凝固点	248°C(原体)
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重(密度)	データなし
溶解性	101g/100g H ₂ O(20°C)(原体)
オクタノール/水分分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	約 300°C
その他のデータ	—

10. 安定性および反応性

安定性	常温常圧で安定
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	火気、衝撃及び可燃物との接触
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	燃焼により、一酸化炭素等の有毒ガスが発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	ラット LD ₅₀ ♂♀ > 5000mg/kg(区分外) マウス LD ₅₀ ♂♀ > 5000mg/kg(区分外) 以上のデータより、区分外とした。
急性毒性(経皮)	ラット LD ₅₀ ♂♀ > 2000mg/kg(区分 5)
皮膚腐食性・刺激性	ウサギ なし(区分外)
眼に対する重篤な損傷 ・眼刺激性	ウサギ 軽度～中等度(区分 2B)
呼吸器感作性	データなし(分類できない)
皮膚感作性	モルモット 陰性(区分外)
生殖細胞変異原性	Ames test、Rec Assay、染色体異常試験 いずれも陰性(原体)

発がん性	分類に必要十分なデータがないため、分類できない。
生殖毒性	データなし(分類できない)
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	データなし(分類できない)
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	データなし(分類できない)
吸引性呼吸器有害性	データなし(分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性	魚類(コイ)EC ₅₀ (96h) >1000mg/L 甲殻類(オオミジンコ)EC ₅₀ (48h) >1000mg/L 藻類 EbC ₅₀ (72h) >1000mg/L 以上のデータより、区分外とした。 慢性有害性は、難水溶性ではなく、また急性が区分外のため、区分外とした。
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層の有害性	データなし(分類できない)

13. 廃棄上の注意

廃棄方法(残余廃棄物、汚染容器及び包装)	内容物や容器を、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 汚染されたものは、十分に水洗いした後、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。
----------------------	---

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	UN1495
品名	塩素酸ナトリウム
国連分類	クラス 5.1 (酸化性物質)
容器等級	II
IMDG	5.1
海洋汚染物質	—
国内規制	
特別の安全対策	積み下ろし時の衝撃及び火気に注意する。 消防法に定められている運送方法に従う。 消防法危険物第2～5類物質(木炭、硫黄、金属粉等)と混載しない。 「危険物」の標識を掲げる。 容器を損傷しないよう取扱いは丁寧にする。輸送中の転落、転倒防止処置をとる。
応急措置指針番号	140

15. 適用法令

農薬取締法	農林水産省登録 第 9024 号
消防法	危険物第 1 類 塩素酸塩類含有物 第 2 種酸化性固体 (300kg)

毒物劇物取締法 化審法 労働安全衛生法	劇物(法第 2 条) 対象外(農薬取締法対象のため)(法第 55 条) 危険物・酸化性の物(施行令別表第 1 第 3 号) 名称等を通知すべき有害物(332 セスキ炭酸ナトリウム)(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)
大気汚染防止法 水質汚濁防止法	非該当 指定物質(51 塩素酸及びその塩)(法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3)
船舶安全法 港則法	酸化性物質類・酸化性物質(危規則第 3 条危険物告示別表第 1) その他の危険物・酸化性物質類(酸化性物質)(法第 21 条第 2 項、規則第 12 条、危険物の種類を定める告示別表)
海洋汚染防止法 航空法 道路法	非該当 酸化性物質類・酸化性物質(施行規則第 194 条危険物告示別表第 1) 車両の通行制限(施行令第 19 条の 13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第 7 号別表第 2)
化学物質管理促進法(PRTR)	非該当

16. その他の情報

引用文献 記載内容の問い合わせ先	1) 安全衛生情報センター「セスキ炭酸ナトリウム」モデル MSDS ○一般的な窓口 日本カーリット株式会社 化成品部 TEL 03-5821-2037 FAX 03-5821-2051 ○技術的な内容について 日本カーリット株式会社 群馬工場技術グループ TEL 0279-23-8896 FAX 0279-23-8480 ○法令・規制等について 日本カーリット株式会社 環境安全品質保証部 TEL 0279-23-8812 FAX 0279-23-8642
記載内容の取扱い	記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成してありますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。